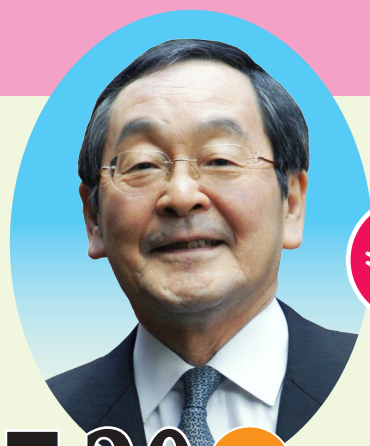


デンタルスタッフ・ミライ・プロジェクト ニュース vol.33



下野正基先生（東京歯科大学名誉教授）講演会のご案内

演題

下野先生に聞いてみた

日常診療で生じる疑問をわかりやすく解説します

7.29 SUN

10:00~16:00

会場 イオンモール岡山となり
ピュアリティまきび1日参加 ①歯科医師 5,000円 ②歯科医師以外のスタッフ 2,000円
半日参加 ③歯科医師 3,000円 ④歯科医師以外のスタッフ 1,000円

*参加費は当日受付にてお支払い下さい。昼食は各自ご用意下さい

申込方法 会員（他県含む）医療機関限定企画 1医院6名まで受付
ご参加は半日でも1日でも構いません。
協会ホームページ（右のQRコード）よりお申込み下さい

1 ペリオに関して（抜粋）

- ・SRP時のセメント質削去はどこまでやるべきか？
- ・BOP（ブローピング時の出血）の意義は？
- ・歯周ポケット内では何が起こっているのか？
- ・歯周ポケットはどのように形成されるのか？
- ・歯周病の進行に関与しているのは、炎症か？力か？
- ・垂直性骨欠損には力が関与しているのか？
- ・妊娠時の歯肉に炎症が発生したり、増悪するのはなぜか？
- ・喫煙が歯周病のリスクファクターで歯周治療に影響を及ぼすのはなぜか？
- ・糖尿病と歯周病がともに影響を与えるのはなぜか？
- ・歯周基本治療はなぜ重要なのか？
- ・なぜ3壁性骨欠損のときは骨が良く再生するのか？

午前
第1部
DH向け

- ・歯肉のクリーピングは長い上皮性付着の結合組織性付着への置換を意味するのか？
- ・なぜ歯肉退縮は起きるのか？
- ・セメント質剥離はどこに起こるのか？などに答えます。

2 インプラントについて（抜粋）

- ・インプラント周囲炎は歯周炎と同じか？
- ・治療法は同じで良いのか？

午後
第2部
Dr.向け

3 エンドについて（抜粋）

- ・ブラキシズムやTCHから知覚過敏症が生じるメカニズムは？
- ・直接覆髄を成功させるために重要なことは？
- ・根管治療後の治癒のスピードは？

4 移植・再植について（抜粋）

- ・歯の移植、再植を成功させるポイントとは？

5 歯の移動・その他（抜粋）

- ・歯根完成歯の挺出はなぜ起こる？
- ・ビスフォスフォネート系薬剤関連壊死の臨床症状は何か？

DH Pro.セミナー講師
山崎瑞穂先生による
コラムのコーナー

Mizuho Yamasaki

メンテナンスには

- ①歯周病の発症を予防するための予防的メンテナンス、
- ②再発を防止するための治療後メンテナンス、
- ③進行の抑制をするための試行的メンテナンス
- ④妥協的メンテナンス、があります。

①予防的メンテナンス

参考値 予防的メンテナンスは、治療後メンテナンスよりもリスクが低い
ため、3～6ヵ月

目的 発症の防止、より健康観が高まるように健康行動の獲得、患者の自立

処置 縁上バイオフィルムの破壊

②治療後メンテナンス

参考値 治療後メンテナンスは、2～3ヵ月

目的 再発の防止

処置 縁上・縁下バイオフィルムの破壊

③試行的メンテナンス

参考値 リスクが高いため、1～2ヶ月

目的 再発の防止、治療後（治療歯、補綴修復物）の経過観察

処置 縁上・縁下バイオフィルムの破壊

④妥協的メンテナンス

参考値 リスクが高いため、1～2ヶ月

目的 進行の抑制

処置 縁上・縁下バイオフィルムの破壊

上記の期間は参考値と考え、動的治療終了直後は間隔を短く、安定後は間隔を少しずつ延ばすなどの対応が必要です。予防的メンテナンスであっても短い間隔の方が良い場合もあるかと思えます。メ

4つのメンテナンスと着眼点

メンテナンス中に不安定になれば当然、メンテナンス間隔を短くしますが、その判断の目安はブローピング時の出血（炎症）や支持骨が少ない、カリエスリスクが高いなどが挙げられます。

試行的メンテナンスとは動的治療が次善の策となったため、様々なリスクを抱えたまま行っていくメンテナンスです。メンテナンス時には深いポケットや骨欠損などが残存するため、ハイリスク部位を中心に監視します。新たな問題が発症しないようローリスク部位にも目を配る必要もあります。セルフケアには限界があるものの、プロフェッショナルケアを成功させる必要条件であり、患者さんと「二人三脚」で行っていく姿勢が大切です。

4つのメンテナンス時の着眼点

- ①前回との比較。
- ②「宿題」にしたところがあれば、「宿題」を患者さんが覚えているか？そして「宿題」に取り組めていたか？
例えば、フッ素洗口をお勧めした場合、フッ素洗口ができていたか？継続して購入できているか？
- ③リスク部位を患者さんにお伝えした後、リスク部位を患者さんに聞き直した時に、答えることができるか？
- ④苦手部位や患者さんの癖をお伝えできているか？患者自身が理解できているか？
- ⑤少しずつでもいいので自己管理能力が向上してきているか？
- ⑥術者によりプロフェッショナルケアでプラークフリーを目指す。